

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024年10月31日

事業所名: 放課後等デイサービス マルクスコラはなみずき教室

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

Table with 12 columns: 区分, チェック項目, 事業所の現状評価 (はい/どちらともいえない/いいえ), 工夫した点、改善点, 保護者の方の評価 (はい/どちらともいえない/いいえ/わからない), 保護者の方のご意見, 評価を踏まえた改善内容・改善目標. Rows are categorized into 環境・体制整備, 業務改善, 適切な支援の提供, and 適切な支援の提供(続き).

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	4	0	0	・相談員さんのほか、学校関係者、他事業所の方も参加している。 ・支援計画作成者、管理者、児発管が参加。					
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施									
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備									
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	4	0	0	・必要に応じて学校に訪問を行っている。 ・学校とのモニタリングや電話や直接のやりとりを適宜行っている。					
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	2	2	0	・必要に応じて会議等を行っている。 ・保護者様、相談員さんからの共有がある。障害福祉サービス事業所との直接のやり取りは少ない。					放課後等デイサービス、就労系サービスも踏まえ連携を図り保護者様、子どもたちに情報提供できるように取り組んでいく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	0	2	2	・必要に応じて訪問挨拶に伺っている。 ・発達障害者センターとのやり取りはない。					関係機関との構築を広げていき、関係構築に努めていく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	2	2	・できていないので機会を増やしていく。 ・必要があれば行うべき	5	3	3	7	近隣の児童館や保育園で協働できる活動を提案し実施を行っていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営									
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	0	0	・契約時の説明の他、資料を掲示。	16	1	0	1	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4	0	0	・計画書のサインの際に説明をしたあと、問題や修正がないか確認をしている。	16	1	1	0	サインを頂く際に立てた意味合いも含めてお伝えできるようにしていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2	1	1	・性について考えることや進路相談会を実施。 ・ペアレント・トレーニングの研修を行い、教室内で実施。	7	6	1	4	スタッフでペアレント・トレーニングの研修を受講し教室内でも実施できるように準備を進めていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4	0	0		14	2	2	0	個別支援計画書への反映、日頃の情報共有を定期的にも実施を行っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	4	0	0	・状況に応じて、相談員など関係機関から意見をもらっている。 ・モニタリング、送迎時、LINEなど様々な場面でやっている。	16	0	1	1	保護者様の思いや考えを理解し、悩みに寄り添うための助言や選択肢を提示できるように取り組んでいく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	3	0	1	・進路相談会、性について、スロカフェの提供はしている。しかし多くの参加はない。 ・保護者様からのニーズがあれば行うことが必要。	6	4	4	4	保護者様にも参加がしやすいようなイベント企画の立案を教室内で取り組んでいく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4	0	0	・状況に応じて、統括マネージャーにも相談・報告をしている。 ・苦情シートの活用や支援者が対応できるような情報共有を行っている。	9	2	1	6	体制に関する情報の周知、早期解決に向け迅速に対応できるように対応をしていく。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	4	0	0	・利用日忘れ防止として事前に連絡を入れている。 ・それぞれの考えに応じて対応をしている。	14	1	2	1	アセスメントの段階から、特性を踏まえて把握を行い個別に合わせた配慮等ができるように準備をしていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	3	1	0	・はな通信を毎月発行。 ・保護者様への定期的配信が課題。	17	0	1	0	はな通信を定期的にも配信を行っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	3	1	0	・写真や動画の記録をスタッフのスマホで撮影している。 ・内部管理、外部へ出す情報の確認の徹底。	16	1	0	1	・非常時等の対応

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	3	1	0	・回数的に少なかつたこともあり継続的に実施していくことが望ましい。 ・活動部屋に掲示している。 ・異動があった際の変更を早目に行う。	12	3	0	3	保護者様への周知も含めて、スコラより発信をしていく。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4	0	0	・半年に1回は行っている。 ・年に2回生徒さんと一緒に実施。その他、ビル全体での訓練にも参加。	16	0	1	1	・南海トラフの事もあり教室での避難訓練も大事かなと思います。	上記と同様。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	4	0	0	・初回のモニタリング等アレルギーの確認を行っている。						
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	4	0	0	・初回モニタリング時の聞き取り、調理プログラムでの確認あり。						
	5	安全管理の徹底	4	0	0	・嘔吐物の処理方法など、衛生面の対応についても共有している。 ・安全管理のことに関する共有や事故報告書の作成が義務付けられている。						
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	4	0	0	・契約時に保険等の説明をしている。						
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	4	0	0	・ヒヤリハット事例集、事故報告書の作成が義務付けされている。						
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	3	1	0	・虐待防止研修はあるが、新人が研修に参加できていない。						虐待防止研修等、満遍なく参加できるように調整を行っていく。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	0	0	・事例はまだなし。						